

令和元年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 会計課
 担当名: 予算係
 内線: 2235

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B1	運転免許証更新時の高齢者講習の受け入れ枠の拡大		一般会計	警察費	警察管理費	運転免許費	運転免許試験費	
事業期間	平成29年度～	根拠法令	道路交通法		宣言項目			
					分野施策	020411 交通安全対策の推進		
1 事業概要 高齢化社会を迎えるにあたり、長期化している高齢者講習の受講待ち及び認知機能検査の受検待ち日数を短縮する。 (1) 契約差金による減額 $\Delta 38,162$ 千円 (2) 節約による減額(留保分) $\Delta 164$ 千円			5 事業説明 (1) 事業内容 ア 公安委員会による高齢者講習の実施 講習用消耗品、車両保険料、講習室及び講習コース工事請負費、備品購入費及び負担金 イ 高齢運転者予約対策関係経費 高齢者講習電話相談に係る消耗品、通信費、システム構築委託料及び機器賃借料 ウ 公安委員会による認知機能検査の実施 検査用消耗品、実施施設用通信料及び検査施設賃借料 エ 高齢者講習施設設置に向けた基本構想 基本構想策定業務委託料、県外視察旅費 (2) 事業計画 ア 公安委員会による高齢者講習の実施数の拡大及び、更なる受け入れ枠拡大に向けた免許センター施設改修 2,108人/年増 平成30年度 14,029人/年 平成31年度 16,137人/年 6回線(最大12人による対応) 91,158人 イ 高齢者講習電話相談の充実関係経費 ウ 公安委員会による認知機能検査の実施 エ 高齢者講習施設設置に向けた基本構想策定 (3) 事業効果 公安委員会による高齢者講習及び認知機能検査の実施、受検及び受講予約における利便性の向上、電話相談の強化、高水準で増加が見込まれる高齢者の対する免許行政サービス提供の安定化 (4) 補正予算の概要 ア 契約差金による減額 イ 節約による減額(留保分)					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)等								
3 地方財政措置の状況 地方債の充当率 警察債 75%								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員								
予算額			財源内訳				一般財源	補正後の 予算額
決定額	$\Delta 38,326$	使用料・手数料	県債				$\Delta 38,326$	618,310
現計額	656,636	156,567	541,000				$\Delta 40,931$	